

ひろしまええとこ通信



「生活支援コーディネーター」が地域づくりを応援します！

広島市では市・区社会福祉協議会に生活支援コーディネーターが配置されています。

地域団体やボランティアグループ、企業やNPO、専門機関など、様々な方の思いや情報をつなぎながら、支え合いの地域づくり、地域の「あったらいいな」「できたらいいな」を実現させる応援をしています。

「ひろしまええとこ通信」の題字が変わります。

ひろしまええとこ通信の題字を鈴が峰地区社会福祉協議会推薦の尾上育子さんに書いていただきました。

毎月発行している鈴が峰地区社会福祉協議会の広報紙「広報すずがみね」には尾上さんの絵手紙が掲載されています。鈴が峰会館で絵手紙教室をされていた尾上さんに当時の広報委員の方から声をかけたのがきっかけだそうです。

「毎月何を描こうかなと考えるのが楽しい。地区の方たちから広報紙見たよ！と声をかけてもらうのが嬉しい。」と笑顔でお話をいただきました。

今年度は尾上さんの素敵な題字とともに、地域の『ええとこ』をたくさん紹介していきます！

おのえ いくこ

尾上育子さん



今年はへび年

尾上さんをご推薦していただいた
鈴が峰地区社協のみなさん



岡光会長

梅崎地域福祉推進委員(左)
元宗地域福祉推進委員(右)

平成12年7月号から毎月欠かさず尾上さんの絵手紙が掲載されています。季節や時事ネタをテーマにデザインを考えられています。

「住民主体型生活支援訪問サービス」で 地域の高齢者のちょっと困った[🌀]を支援！

住民主体型生活支援訪問サービスとは、「介護予防・日常生活支援総合事業」（介護保険事業）で実施する訪問型サービスの1つです。

地域団体等が「ちょっとした困りごと」で支援が必要な高齢者等の自宅を訪問し、生活の支援を行うサービスです。

このサービスを実施する団体に、広島市が運営費などの費用の一部を補助しています。

サービスの内容は、家の中の掃除やゴミ出し等の生活支援（第1号サービス）と、これまでの介護保険のサービスでは提供することができなかった庭の草取りや電球交換等（第2号サービス）があり、各団体がそれぞれ実施可能なサービスを選んで実施しています。

●運営団体への運営費の補助

- ・住民主体型生活支援訪問サービスの提供に必要な運営費・・・10万円 ※初年度のみ20万円
- ・ボランティアコーディネーターへの謝礼金(1日当たり)・・・1,000円

●サービスの種類

<第1号サービス>

- ア：掃除（居室内やトイレ、卓上等の清掃、ゴミ出し）
- イ：洗濯（洗濯機又は手洗いによる洗濯、洗濯物の乾燥・取り入れ・収納、アイロンがけ）
- ウ：ベッドメイク（利用者不在のベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等）
- エ：衣類の整理・被服の補修（夏・冬物等の入れ替え等、ボタン付け、破れの補修等）
- オ：一般的な調理、配下膳（配膳、後片付けのみ、一般的な調理）
- カ：買い物、薬の受け取り（日用品等の買い物（内容の確認、品物・釣り銭の確認を含む）、薬の受け取り）

<第2号サービス>

- ア：草むしり、花木の水やり、植木の剪定等の園芸
- イ：犬の散歩等ペットの世話
- ウ：家具・電気器具等の組み立て・移動・修繕・模様替え
- エ：大掃除、窓のガラス磨き、床のワックスがけ
- オ：室内外家屋の修理、ペンキ塗り
- カ：正月、節句等のために特別な手間をかけて行う調理
- キ：書類・郵便物等の確認、手続きの助言
- ク：新聞、書類等の代読、パソコン操作
- ケ：散歩、買い物等外出時の付き添い
- コ：無償により自家用車を使用して行う送迎

<第3号サービス>

第1号及び第2号サービスに含まないサービスで、実施団体が独自に提供することを市長が認めたもの。



楽々園学区社協（ぼちぼち応援隊）

令和7年度新規サービス実施団体を募集しています！

- ・募集時期（2回目）：令和7年7月1日（火）～7月31日（木）
- ・詳細は市区社会福祉協議会へお問い合わせください。

安佐南区

ボランティアセンターやすにし

地域住民の助け合いがきっかけで「気かけ合う」関係に！

安佐南区の安西学区では、令和6年10月から住民主体型生活支援訪問サービスの制度を活用され、学区社会福祉協議会を中心に地域の皆さんの助けあいをすすめるボランティアセンターの充実に取り組まれています。



ボランティアコーディネーターの
松田さん・柿原さん・東さん

活動されていてよかったことはありますか。

安西学区は、山手の団地やアストラムライン沿いの住宅と生活環境がいろいろです。

要介護のご夫婦から町内会を通じて草刈りの依頼がありました。ちがう地区の二人で訪問し、作業を行っていたところ、両隣の方が「手伝いますよ。」と声をかけてくださり、一緒に草刈りを行いました。

活動をきっかけにご近所さん同士がつながり、顔が見える気かけ合う関係づくりにつながりました。

また、警察の方から相談できる仕組みが地域にあることがすごいことだと褒めていただいたこともあります。

活動を続ける原動力は何ですか。

やはり心から喜んでもらえることです。例えば包丁とぎの依頼があり、1回行った後もその後どうですかと、こちらから声をかけることもあります。それをきっかけに他にもちょっとした困り事を頼まれるケースもあり、それぞれに得意な分野があるボランティアさんをお願いし、想像以上に感謝され、活動する側もやってよかったという充実感があります。



今後の取り組みについて教えてください。

地区によってボランティアが少なかったり、また若い世代の活動者がいないため、今後継続して広く活動していくために、老若男女問わずボランティアに広く参加してもらいたいです。



手作りのチラシで地域に呼びかけ

もっと学区全体でこの活動を知ってもらい、支える側支えられる側を問わず、同じ地域で暮らす住民としてこの仕組みがあることで安心や気軽に地域の人同士がますます声をかけ合える地域になるよう活動が広がることを願っています。

佐伯区 サロン世話人が地区を超えて別サロンでの“講師”に！！

五日市中央地区の介護予防拠点「結」の信永代表が、地域を超えて五日市東小学校区内にある介護予防拠点「ダイアパレス皆賀いきいき百歳体操」のスマホ講師として活動されました。

きっかけは、ダイアパレス皆賀いきいき百歳体操の代表者が区社協へ「スマホを教えてください。講師、おらんかねえ。」という一言でした。

かねてより信永代表から、「結」でも高齢者にスマホの使い方を教えている、という話を聞いていたこと、携帯会社では難しい自身の携帯で学べること等があり、せっくならば地区を超えての交流につなげたい！との思いで講師依頼をさせていただきました。



そもそも自分のスマートフォンがアンドロイドなのか、iPhoneなのかを知るところから始まり、基本的な操作方法やLINEの豆知識等笑いを交えながら教えていただきました。

参加者から沢山の質問が挙がり、「知らなかった！」「こうすれば良いのね。」等の声があり、大変好評でした！



佐伯区生活支援コーディネーターより一言

普段から、何気ない一言やちいさなつぶやきを聞き逃さないように心がけています。

今回はその方の得意なことが実際の活動に結びついて良かったです。

今後も相手の得意なこと・できることに寄り添ったお手伝いができればと考えています。

信永代表



このような機会をいただき、ありがとうございました。

皆さんが熱心に参加してくださり、私自身も元気をもらいました。

これからも、地域同士がつながり、学び合える機会を大切にしていきたいと思います。

< 各地で実践されている“ええところ”をお寄せください！ >

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええところ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

